広告 企画・制作　読売新聞社ビジネス局

留学って外国にいくんだよね。大丈夫かなぁ…不安……

学くん 小学6年生

海外のドラマやアニメを英語で楽しめるようになれるかな

留理さん 小学6年生

大月俊弥さん 高校1年生
留学して世界の広さと文化の違いを体験したい

石崎凜さん 高校2年生
英語の仕事に興味を持った自分にびっくりしてます！

黒田莉梨さん 高校1年生
やる気があればとことんサポートしてくれます

安田学園のグローバル教育ってすごいの？

在校生 留学座談会

座談会に参加してくれたのは、今年の1月から3ヶ月間オーストラリアに留学してきた石崎凜さんと来年1月から留学する予定の黒田莉梨さん、大月俊弥さんの3人。石崎さんの意外な告白から、黒田さん、大月さんのワクワクする夢まで話題はどんどん広がり、とても楽しい座談会になりました。

どうして留学に行こうと思ったのですか？

石崎 安田学園では、中学3年生の夏休みに2週間くらい**ニュージーランドに短期留学**するグローバル教育プログラムがあるんです。

留 **オーストラリアに3ヶ月間留学**されたんですよね。

石崎 でも、ニュージーランド留学のときに、少しホームシックになっちゃって（笑）。だから、オーストラリアへの留学はもう無理って思って。英語もそんなに得意ではなかったし…。

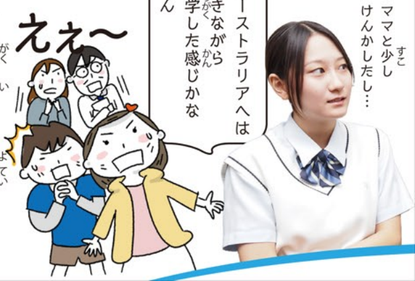
学 どのくらい準備して留学に行かれたのですか。

石崎 そんなに準備しないで行っちゃいました。そもそもあまり行きたくなかったものですから。

工藤先生 そうなの…

学 大月さん、黒田さんは来年1月から3ヶ月留学に行かれる予定ですよね。

↑留学中の生徒のもとへ視察に訪れた稲村校長と英語科の本先生



大月 はい。元々、僕は英語に憧れがありました。また、視野を広げ、物事を多角的に見るためには**文化の違いを知ることも大切**だと考えて、留学に行きたいと思いました。

黒田 私は小学生のときから英語が好きでした。将来は**宇宙開発の仕事に従事したくて、英語は必須だろうな**と考えています。また、父がニュージーランドに留学していた経験があり、話を聞いていたので興味はありました。

留 留学した先輩に聞いておきたいことは？

黒田 最初はどうやってコミュニケーションをとられたのですか？

石崎 安田学園には**毎年海外から留学生も学んでいますよ**ね。中学のとき、フランスから来ていた留学生の子がいたんです。彼女も最初は大変そうでしたが、みんなと交わっているうちにみるみる日本語が話せるようになっていました。現地では彼女のことを思い出しながら、私も積極的に話しかけるようにしました。**前回の留学体験も大きかった**ですね。

大月 授業やホストファミリーについて教えてください。

↑ホストファミリーと休日を楽しむ石崎さん

石崎 好きな授業を1日4コマ選択する形でしたのでとても楽しかったです。クラスメートも日本に興味があるみたいで、一緒に日本の歌を歌ったり、動画を見たりしましたね。私はバスケットボール部でしたから、放課後はバスケをして過ごすこともありました。コミュニケーションのコツは元気。元気でやればなんとかなると思っていました。

ホストファミリーはパパとママ、2つ年上のお姉さん。みんなとてもやさしくて、英語の勉強も手伝ってくれました。ご飯もすごく美味しくて、**毎日ホストの家に帰るのが楽しみ**でした。おかげさまでホームシックにはなりませんでした（笑）。

安田学園の授業ってどんな感じ？

大月 入学前にいろいろな学校を見てきましたが、**英語の授業の充実ぶりと留学が入学の決め手**になりました。

黒田 授業は工夫されているものが多いです。**「創作スキット」**は友だちとオリジナルの英語寸劇を作って演技するペアワークで、みんなの発表も面白いんですよ。

大月 **「オンライン英会話」**は海外の講師と直接コミュニケーションができるので、個人的にお気に入りです。

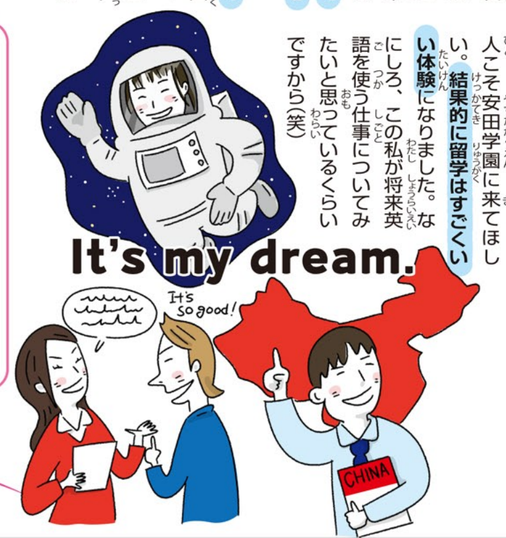
石崎 英語が苦手だった私に、英語って楽しいよと教えてくれたのは中学のときの鈴木陽子先生です。鈴木先生の授業は全て英語なのですが、とても楽しく、**置いていかれそうな私のような子もしっかり拾ってくれ**ました。

大月 本校には**第二外国語の授業**があり、僕は中国語を選択しています。もしも、将来起業することになったときに、マーケットの大きい中国は大切な顧客になるかなと考えています。

全員 そんな夢を！

黒田 先生のサポートが手厚いところが本校の魅力です。わからないところはていねいにアドバイスしてくれるし、**やる気があれば必ずできるようになります**。

石崎 私みたいに英語に苦手意識を持っている人こそ安田学園に来てほしい。**結果的に留学はすごくいい体験**になりました。なにしろ、この私が将来英語を使う仕事についてみたいと思っているくらいですから（笑）。



実は私も英語が苦手でした。だから、苦手な子の気持ちは痛いほどわかります。ですから、英語をやさしく、やわらかく伝えたい、楽しく学んでほしいという思いを強く持ち、プログラムを工夫しているんですよ。

根本竜太郎先生 国際教育主任

工藤大奈先生 英語科教諭

安田学園の「グローバル教育」

受け身ではなく、発信型の語学力を身につけるには体験に勝るものはありません。本学では留学をはじめ、さまざまな体験型プログラムを用意しています。

ニュージーランド短期留学（中学3年生）
夏休み中に約3週間実施。ニュージーランドにホームステイします。

3ヶ月留学（高校1年生 /希望者）
高校1年の1月下旬から4月上旬にかけて実施。ニュージーランドかオーストラリアの現地高校で学びます。帰国後は高校2年へ進級できます。

日韓交流プログラム（高校1～2年生 /希望者）
韓国の同世代と交流し、文化を学び合います。夏休みに韓国側が訪日、冬休みに本校生徒が訪韓します。

第二外国語講座（中学2～高校2年生 /希望者）
中国語、韓国語、フランス語から選択。よりグローバルな視点を育むために、英語以外の言語に触れ、異文化理解を深めます。

ニューヨーク研修（高校1・2年生 /希望者）
春休みに7日間ニューヨークを訪問。大学や美術館などで経済、政治、文化の最先端を体験します。

安田学園の英語の授業

「ペアワーク」

宿題の答え合わせまでは家で済ませ、授業は予習をしてきたところも教え合うことから始めます。自分が間違えたところも中心にペアで共有し、教え合うことで理解を深めていきます。

「創作スキット」

聞くだけではなく、自分で発信することで生きた英語力を身につけることができます。「創作スキット」は生徒がペアを組んで、自分たちで考えた数分のオリジナル英語劇を発表するもの。その時点の学習範囲の文法を使って物語を作っていきます。年間を通して行うので、後半になるにしたがい、表現の幅も広がり、複雑な内容となっていきます。

小道具やかつらまで自作してくる生徒も…

「オンライン英会話」

毎週35分間、海外にいるネイティブスピーカーの講師とマンツーマンで英語のみでコミュニケーションを取ります。たがいの文化を紹介し合うなど、多様性を学ぶ機会にもなっています。

現中学1年生の3年次の夏から、ニュージーランド短期留学は全員参加となります。高校2年生秋に実施するオーストラリア修学旅行と合わせて、6年間で最低2回は海外を体験することになります。ニュージーランド語学研修、ニューヨーク研修なども実施し、年間で150名の生徒が海外研修に参加しています。